

一般質問

「市政ここが聞きたい」

9月6日(火)

ごみ屋敷に対する市の対応強化を



中本 正一

ごみ屋敷は景観を損ね、放火や自然発火、害虫の発生、悪臭等を誘発し、周辺住民とのトラブルに発展するなど社会問題となっている。そこで①ごみ屋敷の実態は②これまでの市の対応は③条例整備を含めた取組強化に向けた見解は。

答弁

①市民からの苦情・相談等で把握した件数は昨年度が12件、本年度は8件②強制撤去できる条例はなく、地元の方々の協力を得て対応しており、特に近隣に不快を与える場合には毅然とした態度で強く指導している③ごみの定義は主観による部分が多く、その定義づけは難しい。そのため強制撤去した場合には財産権の侵害ともなりかねず、行政代執行等は非常に

難しい。現時点ではその所有者に対して、周りに迷惑をかけていることを強く説得しながら取り組みたい。
◆その他◆福祉相談体制の充実について／屋外広告物に関する景観行政について



買い物弱者支援を積極的に



池田 正弘

食料品をはじめ生活必需品を購入できる場所や手段がない「買い物弱者」が増えている。支援策の一つとして、電話などの注文で商品を配達する店を紹介した「宅配サービスリスト」を

作成し、高齢者などに配布してはどうか。

答弁

チラシなどにより既存店の情報を集約して市民へ情報提供することは、商店側にとっても新たな顧客獲得につながる可能性もあり、地元商店の活性化にもつながるのではないかと考える。また、利用者側にとっても、重いものを持つことがおっくうになったと

街なかに賑わいを!



山下 伸二

街なかに賑わいをつくるため、松原で「わいわいコンテンツプロジェクト」が社会実験として始まった①これまでの取り組みとその成果は②佐賀の魅力発信や新しいコミュニティづくりにより、中心市街地の歴史的な建物を活用してはどうか。

答弁

①居心地のよい休憩所として、街なかの空き地に芝生広場とオープン

感じている方々の負担を軽減できる、困ったときに利用できるという安心感にもつながるのではないかと考える。今後、商工会議所や商工会、関係団体と買い物弱者支援対策の一つとして検討を行っていきたい。

◆その他◆認知症予防について／学校図書館の機能充実に

きるような方策を検討する。
◆その他◆市役所からの郵送物の効率化を／道路整備による交通量の変化の想定は



わいわいコンテナ

街なかの水を確保できないか



西村 嘉宣

①街なかの水の活用によって、観光客の招致を考えると②多布施川の取水口（石井樋）において、夜間の取水を減らして、昼間の取水を増やすようにできないか③農業用水を昼と夜で変化させ、都市用水に活用できないか。

答弁 ①観光の面でも街づくりの面でも、街なかを縦横に走る水路を生かして

いくことは重要である。市の魅力である水路をできる限り活用できるように、できる部分から取り組みたい

②嘉瀬川から多布施川への配分水量は、各構成団体でルー

ル化されているため、昼夜間での流量変更は困難③農業用水の都市用水としての活

用は、使用目的が異なるため難しいが、農業用水の一部を市

街地を経由して下流の農地へ送るなど、有効な活用方法につ



いて関係機関等と協議したい。

◆その他◆職員の健康管理について／歩道について

1%支援制度の更なる充実を



山口 弘展

今年度から始まったこの制度は市民にとって非常に有意義な事業と評価できるが①最終的な支援対象団体数は②市民からの投票数（率）は③今後の課題として広報や投票方法の検討な

ど登録団体を増やす努力が必要と思われるが見解は。

答弁 ①審査委員会を経た最終的な支援対象団体数は46団体②暫定的な数字であるが、投票総数9915票（約5.2%）、有効と見

込まれる投票数は9255票（約4.9%）③積極的に自治会へ広報の願いをし、PRしたい。投票方法

については、選択できる数

をどうするかなど、次回に向けて制度の見直しを行っ

ていく中で検討したい。市民対象事業を市民に向けて

広報し、市民活動への理解や活動への参加が進むように努めていきたい。

◆その他◆緑化推進について／インフラ更新計画につ

9月7日(水)

パブリックコメントの改善について



野中 宣明

市の政策をつくる過程において、事前に計画案を公表し市民から意見を求めているが、その内容がわかりにくく利用が低調である。やはり意見を提出していた

だけの状況をつくるために、今のやり方を見直し、改善や工夫をすべきでは。

答弁 市民に対し、市報等を利用しながら、この制度の周知を図っていくとともに、意見募集の際には今までよりもわかりやすい資料を提出し、パブリックコメントの活性化に努めていく必要がある。例えば、総

合計画については計画ができた後に概要版をつくって、より多くの皆さんにわかるような周知をしているが、パブリックコメントをつくる際にも概要版のようなものができる場合には一緒に載せるような工夫をぜひしていきたいと考えている。

グラウンドの管理・整備の充実を



実松 尊信

①市営球場の外野ぐらいは、芝を張りかえる必要があるのでは②球場外によくボールが出ていき危険と感ずる。今よりネットを高くすべきでは③嘉瀬川グラウンドをもっと整備すべきでは④嘉瀬川グラウンドにトイレの設置をすべきでは。

答弁 ①頻繁に使う外野の定位置は芝がはげてくるので、繁殖力の強いティフトン芝による移植等で復旧措置が可能と考えている②場外への飛球は大変危険なので、早急に実態を調査し、ネットの高さについての研究、検討を行いたい③嘉瀬川河川敷北グラウンドについては、維持管理コストが軽減するため無料で貸し出しを行っており、今のままの使い方を続けていきたい④現場での実態調査や他市の事



例調査を行い、国の占用許可の問題も含めて、総合的に研究、検討を行いたい。

◆その他◆公園の整備につ

応援したい！中体連の休日開催を！



川原田裕明

中体連は中学生の運動部最大のイベントであり、子どもたちはこの大会を目標に練習・稽古に頑張り、家族も大会で活躍する姿を楽しみにしている。しかし、平日開催の現状では応援に行きにくいのが実態。休日開催を検討できないか。

答弁 7月29日・30日の県大会を見据え、1学期の終業式の翌日から3日間、7月21日から23日までに毎年開催しており、現場にも浸透定着している。理由は①目標を設定して練習してもらおう②1学期の学習との区切りをつけ大会に全力を傾注してほしい③県大会までの練習期間を確保するため④費用がかかるから平日というのではない。仮に土日を含み開催した場合、



業者に対し、納入する食材の安全性の確認、地場産品の利用促進などを改めて通知し、徹底を図った。今後も、流通経路を配慮した産地の明確化、肉牛の個体識別番号との照合など安全に関しての意識を高め、食材の発注・検収を厳格に実施していきたい。直接自分たちで測定する簡易測定器は、金額、精度もさまざまで、検査手順についても国が示したものが無い状況であり、今の

子どもたちは月曜日からの授業に臨まなければならぬという健康上の課題等も考慮にいれての日程である。
◆その他◆部活動について
／教科書選定について

学校給食への放射性物質の測定実施



重松 徹

放射性セシウムに汚染された稲わらを与えられた可能性のある牛の肉が、学校給食に使用されたことは否めない事実であるから、再発防止が重要になってくる。そこで今後、学校給食食材の放射性物質の測定が給食調理現場で出来ないものか。

配膳室のようす



配膳室のようす

◆その他◆佐賀市の農業を成長産業にするために

学校の防災対策・機能強化を！



中山 重俊

①平成26年度完了予定の小中学校の校舎・体育館の耐震化の進捗率は②文科省による施設整備の基本方針は③体育館の天井材や外装材の耐震化は④学校の応急避難場所としての役割充実

の推進を⑤太陽光発電の設置は⑥避難訓練の改善策は。
答弁 ①平成23年9月現在の耐震化率は74%②平成27年度までの早い時期に耐震化完了を目指すこと③天井材や外壁材等の非構造部材の耐震化の推進④避難所機能として貯水槽、備蓄倉庫、トイレ、自家発電装置等の整備により防災機能強化を図る必要がある、の

9月8日(木)

はくち泊地航路 しゃんせつしゅんせつ 国庫補助事業活用を



川崎 直幸

筑後川水系では筑後大堰や導流堤の影響で、八田江・本庄江水系では流量不足等により泥土の堆積が年々増加している。毎年小規模な漁港浚渫工事が行われているが、国庫補助事業を活用して大規模な浚渫を実施する必要があるのでは。

3点である③現在確認できている耐震化が必要な学校は2校。今後は非構造部材の耐震化の推進も必要と考える④関係部署と連携し研究したい⑤現在設置に向け検討中である⑥避難経路の再確認等を通知している。
◆その他◆消火力（常備消防）の整備について／アナログ放送の打ち切りに対する対応策は万全だったか

でいるところである。
◆その他◆佐賀空港内及び周辺の公害対策について／有明海の環境保全について／漁船保管施設等について



泥土の堆積した早津江川